研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学皮膚科学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2024年12月

福島県立医科大学医学部皮膚科学講座 山本俊幸

■ 研究課題名

膿疱性乾癬患者における血清 Neutrophil gelatinase-associated lipocalin(NGAL)値の検討

■ 研究期間

2024年12月～2027年5月

■ 研究の目的・意義

乾癬は100人あたり1人の有病率であり、頭部、肘頭、膝頭、臀部などを中心とした皮膚に角化性の紅斑を繰り返し生じる慢性の炎症性皮膚疾患です。乾癬には尋常性乾癬、膿疱性乾癬、関節症性乾癬などの病型があります。膿疱性乾癬は乾癬の約2.3%と比較的まれな疾患です。Neutrophil gelatinase-associated lipocalin (NGAL) は好中球ゼラチナーゼ関連リポカインで皮膚障害や角化で高値になり、尋常性乾癬で上昇することは示されていますが、膿疱性乾癬の報告はありません。膿疱性乾癬では病勢を反映する血清学的なマーカーがないため、NGALが膿疱性乾癬の病勢を判断する材料になる可能性がある。

■ 研究対象となる方

2007年4月から2023年9月までに当院皮膚科を受診し、膿疱性乾癬と診断された患者さんが対象です。また、膿疱性乾癬の患者さんの血液と比較するため、2007年4月から2023年9月までに当院皮膚科を受診した尋常性乾癬、掌蹠膿疱症や基礎疾患を有さない患者さんも対象となります。通常の診療目的で採取した血液の残余分を保管し、その残余分を研究の対象として使用しています。

■ 研究の方法

研究対象者の臨床情報（性別、生年月日、年齢、原疾患、既往歴、合併症）、血液検査：白血球数（WBC）、好中球、C反応性蛋白（CRP）の収集と整理を行います。研究対象者の保存血清を血中NGAL量を測定し、血清NGALと膿疱性乾癬の病勢の関連性を調べます。さらにNGAL

の免疫染色を用いてどのくらい染色されているか、尋常性乾癬や掌蹠膿疱症、基礎疾患を有さない患者さんと比較します。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2025年1月1日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学皮膚科学講座であり、研究責任者は皮膚科学講座 山本俊幸です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 竹之下誠一であり、それらの情報は福島県立医科大学皮膚科学講座で利用し解析を行います。

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

なし

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

公立大学法人福島県立医科大学医学部皮膚学講座 担当：山本俊幸

電話：024-547-1309 FAX：024-547-1309

e-mail：dermatol@fmu.ac.jp